

「広報うつのみや」（昭和25年4月1日発行）の中から、昭和を感じさせる懐かしい記事をご紹介します。



（一口メモ） 市では、結婚式の簡素化と生活改善のため、昭和29年12月から、婚礼衣装1組を有料で市民に貸し出しました。昭和32年からは式服が2組に増え、記事の昭和38年には、新たに「うちかけ一式」が加わりました。婚礼衣装の貸し出しは、昭和45年ごろまで続きました。

昭和の記憶

～あんトキの記事から～



婚礼用うちかけを貸出し

（広報うつのみや昭和38年1月10日号）

市では今まで婚礼式服として花嫁衣裳を2組用意し、市民の方に貸し出していました。さらに写真のような「うちかけ」を一式そなえ、貸し出しするようになりました。

このため使用条例の一部改正が行われたものです。

【参考】 うちかけ使用料金

1日の場合	3千円
2日にわたる場合	4千円
3日	5千円

うちかけ一式の内容は、にしき織うちかけ1、紅紋きんしゃ長じゅばん1、白羽二重下着1、金ぱく帯1、末広1、絞り帯揚1、はこせこ1、抱帯1、懐剣1、角かくし1、ぞうり1、となっています。

貸し出しはすでに始めていますから、どうぞご利用ください。